第1号様式
所属進行表

業務運営進行表

（平成２８年４月１日～平成２９年３月３１日）

所属	局名	部名	室・課（出先機関は所属）名	所属のホームページ
	教育局	－	大和高等学校	http://www.yamato-h.pen-kanagawa.ed.jp

Ⅰ　業務概要

全日制の課程　普通科

Ⅱ　支出の状況

（単位：千円）

			第１四半期	第２四半期	第３四半期	第４四半期	出納整理期間	累計
事業経費	項目	(再)配当額	支出済額					
	事業費	76,344	1,379	4,729	35,154	34,420	661	76,344
	維持管理費	24,929	3,868	4,986	6,263	8,369	1,444	24,929
	計	101,273	5,247	9,715	41,417	42,789	2,105	101,273
人件費　（注１）			160,338	107,612	165,227	111,856		545,034
合計			165,585	117,328	206,644	154,645	2,105	646,307

（注１）人件費には職員数に共済費及び退職手当の平均単価を乗じて算出した共済費相当額（事業主負担分）及び退職手当相当額が含まれています。
（注２）各項目毎に千円未満四捨五入を行っているため、各計欄は一致しない場合があります。

Ⅲ　職員配置状況

	区分	４月１日	７月１日	10月１日	１月１日
配置職員数	常勤職員	56	56	56	56
	上記以外の職員	33	40	40	40
	計（人）	89	96	96	96

Ⅳ　業務実施状況

１　生徒の状況

生徒数等（平成28年4月1日現在）

		１年	２年	３年	合計
学級数		7	7	7	21
生徒数	男	134	144	134	412
	女	144	138	144	426

２　年間行事予定

４月　始業式、入学式、スタディーサポート（１・２年）、新入生歓迎会、社会見学、面談週間
５月　体育祭、進路状況説明会（３年）、１学期中間試験
６月　働くことについての学びの講演会（１年）、校内実力模試（３年）　　学年懇談会・進路講演会（１・２・３年）、生徒会本部役員選挙、
　　大学説明会（３年）、大学学部・学科説明会（２年）、選択科目説明会（１，２年）
７月　１学期期末試験、校内実力模試（１・２年）、球技大会、夏期講習、 部活動合宿、大学知的体験プログラム説明会（２年）
８月　保護者面談、部活動合宿、夏期講習
９月　文化祭（３日・４日）、センター試験説明会（３年）、芸術鑑賞会、ＴＯＥＩＣまたはＴＯＥＩＣ－Ｂｒｉｄｇｅ（１・２年）
10月　開校記念日（１日）、２学期中間試験、修学旅行（２年）、校内実力模試（３年）、学校説明会（29日）ＩＢＭ知的探訪（1年）
11月　進路講演会（１・２年）、学校説明会（12日）、健康教室（１年）
　　ＩＢＭ知的探訪（１年）、音楽発表会・作品展、学年懇談会（１・２年）
12月　２学期期末試験、球技大会、大学受験直前特別講座（３年）
１月　大学受験直前特別講座（３年）、百人一首大会（１年）、校内実力模試（１・２年）
３月　卒業式、３学期期末試験、球技大会、修了式

３　進路の状況

		平成27年度	平成26年度	平成25年度
卒業者数		279	279	280
進学	４年制大学	250	237	229
	短期大学	1	0	4
	専門学校・各種学校	2	10	15
就職		0	2	1
その他・進学準備等		26	30	31

Ｖ　業務運営に関する評価

１　平成２８年度の学校目標

学校目標	取組の内容	
	具体的な手立て	評価の観点
①アクティブ・ラーニングの視点を踏まえた授業実践を行い、研究協議等により生徒主体の授業づくりについての研究を行う。 ②学校行事を実施していく中でその内容を検証し、更なる内容の充実とスリム化を図る。	①「読解力」の視点からアクティブ・ラーニングの視点を踏まえた授業実践をすべての教員が実施するとともに校内研修会を実施して、指導方法の研究に取り組む。 ②学校行事ごとの準備や当日の運営方法等を見直し、授業時間確保のための改善に取り組む。	①生徒による授業評価項目４における「４　かなりあてはまる」の回答が40%以上となったか。 ②学校行事等の見直しにより、授業時間の確保が図られたか。
①現在の部活動加入率（90%以上）を維持するとともに、保護者や地域の理解と協力を得ることで総合的に部活動を活性化させる。 ②部活動と学習活動の両立を図る。	①部活動指導体制の充実や施設面の改善を図るとともに他校や外部団体との交流等により活性化を図る。 ②夏季講習等の講座について、部活動との調整を行い、生徒の受講を可能にするとともに生徒への積極的な参加を促す	①部活動加入率90%以上を維持できたか。 ①生徒の部活動に対する満足度が高まったか。 ②部活動加入生徒の夏期講習等の講座参加者が60%以上となったか。

キャリア教育の視点から、適切な進路指導を行い、生徒の進路希望の実現をめざす。	職員研修を実施し、模擬試験や合否結果等のデータの分析方法や活用方法を研究するとともに面談等による生徒への個別指導の充実を図る。	・スーパーグローバル大学(トップ型)現役進学率15%以上を達成したか。 ・国公立大学現役合格率18%以上を達成したか。
ホームページ等を通じて本校の教育活動の情報を積極的に発信し、広報活動の充実に取り組む。	地域の自治体との交流の機会を設けるとともにホームページ等の一層の充実を図るなど広報活動に取り組む。	ホームページ等の広報機会の充実に向けて改善が図れたか。
安全・安心な教育環境の整備を推進し、災害発生時の安全性の確保など防災体制の確立を図る。	更新が必要な老朽化した設備の計画的な改善を行うとともに東日本大震災や熊本地震など直近の事例を教訓として、「煙り体験」や「喫食訓練」等の実践的な防災訓練に取り組む。	施設・設備の更新や改善を図ることができたか。 災害を想定した、より実践的な防災訓練を実施し、生徒への防災意識を高めることができたか。

2　平成28年度の学校目標の評価

＜教育課程・学習指導＞
○授業改善の取組が行われ、多くの教科で生徒の主体的な活動や興味関心を高める授業実践がなされたが、教科の枠を超えた研究協議等がさらに必要である。
○学校行事の日程や行事の運営の見直しにより、授業時間増加を図ったが、今後もさらなる行事の見直しと時間割の工夫が必要となっている。

＜生徒指導・支援＞
○部活動が生徒の学校への満足度を上げる大きな要素になっていることは確かである。保護者や関係者からも学習活動との両立が課題として挙げられている。
○施設面の改善や外部指導者の活用等でさらなる部活動の活性化をめざす。学習とのバランスを考慮した活動ができるよう、活動内容の見直し、補習・講習等の学習活動への配慮のほか、担任と部活動顧問との連携により、きめ細かな指導体制を構築する。

＜進路指導・支援＞
○進路講話やキャリア関連行事などにより意識付けが行われ、データ分析や面談等により生徒個々に応じた進路支援を行うことができた。
○授業時数の確保、夏季講習等の実施について検証を活かし検討を続けていく。新しい大学入試やデータ分析・活用に関する職員研修を実施する。

＜地域等との協動＞
○ホームページの充実、地域との交流等、情報発信を生かした連携を図ることができた。新たな学校紹介ビデオを活用し、更なる情報発信に努めるとともに地域の情報も積極的に受け止めるようにする。

＜学校管理・学校運営＞
○設備の改修はかなり進めることができた。使いやすい施設設備を目指すとともに、維持管理のため、日常の清掃や点検、資源節約やリサイクルを励行する必要がある。防災のための備蓄や設備について一定の改善を行うことができた。実際の災害を想定した効果的な訓練の実施が必要である。

連絡先（電話番号）	046-274-0026